

e- エアーポンプ（電動式エアーポンプ）取扱説明書

製品番号 08-02-0047

適応車種 汎用：電動式空気入れ

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎ご使用前に必ずお読み頂き、内容を良く理解したうえで正しくお使い下さい。いつでも内容が確認出来る様に、取扱説明書、パッケージは大切に保管しておいて下さい。

◎商品を使用するにあたり本書記載内容を全て理解、承諾したものとさせて頂きます。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）

◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。

◎製品の取り扱い、タイヤへの使用は全て使用者本人のリスクにおいて行って下さい。

◎車、バイクは日常のメンテナンスを目的とした空気圧調整を主にした仕様です。タイヤ交換後の空気の充填（タイヤのビードを上げる）等の用途としてはご使用頂けません。

◎タイヤの温度や標高で空気圧は変化します。メーカー指定の条件で調整を行って下さい。

◎タイヤに空気を入れる際は、車体を安定させた状態で危険物や鋭利な物、薬品、油等は近くに置かず使用して下さい。

◎吸気を制限し内容に壁や物から 30cm 以上離してご使用下さい。

◎操作は十分に充電した状態で行って下さい。又長期保管の際は定期的に充電状態を把握し管理して下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■コネクタ部には充電端子以外の物を差し込まないで下さい。（ショートし火傷、破裂等の原因に繋がります。）

■電動ポンプ作動中ホースが高温になる場合がある為、手袋を着用し作業を行って下さい。（火傷の原因に繋がります。）

■ホースを取り外す時は、バルブとエアホースをしっかりと保持して下さい。排気風によりホースや対象物が跳ね上がる場合があります。（ケガの原因になる恐れがあります）

■雨の中空気を充填はしないで下さい。（製品を破損させる危険性が高まります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■空気入れ過ぎによる破損等の事故を防ぐ為必ず使用する前に対象物の空気圧の表示をご確認の上ご使用下さい。又作動中は放置したまま、離れずご使用下さい。（誤った空気圧の充填等で破裂し、重傷に原因に繋がります）

■電動ポンプを可燃物の近くには置かないで下さい。（引火爆発や火災等の原因に繋がります）

■水気や砂の侵入、落下、分解、加熱、火中投入、圧迫や強い衝撃を絶対に与えないで下さい。（引火爆発や火災等の原因に繋がります）

■極端に熱い場所や、冷たい場所で保管はしないで下さい。

※炎天下の中の中車内に放置や、バイクの積載 BOX 等に入れたままは非常に危険です。（内部構造の安全性が確保出来なくなる原因に繋がります。）

■リチウムイオン電池内蔵の為製品の取り扱いに注意して下さい。また破棄する場合は必ず各自治体のルールに従って行って下さい。（誤った取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性があります。）

■製品は子供の手の届かない場所に保管して下さい。

■当製品が膨張・異臭・発熱等の異常を感じた場合は直ちに使用を中止して下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

メーカー保証 本書未記入の物は無効です。

■保証の期間：ご購入後1年間です。本書及びパッケージが必要になります。どちらかが無い場合は保証外になります。
本書はご購入日から保証期間中に製造上あるいは材料上の不具合によって使用不能となった場合、点検・調査の上「保証条件」に従って交換させて頂きます。詳細については「保証条件」をお読み下さい。
※製品の仕様によるもの、お取り付けを委託した際の工賃、保証交換により時間損失、車両の転倒に対する損害保険等の製品不良以外については製品保証内容に含まれておりません。

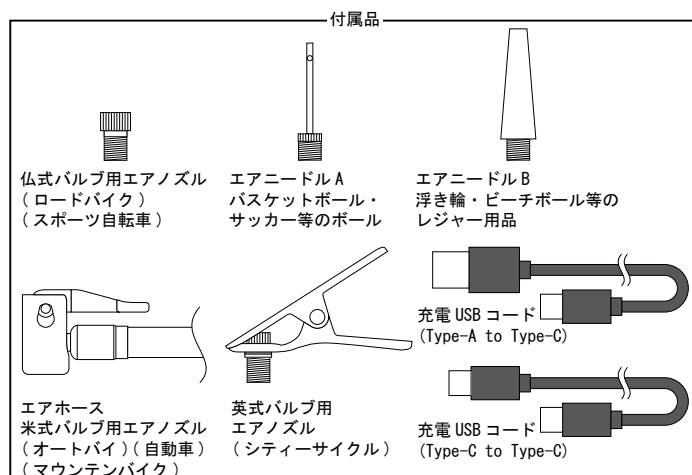
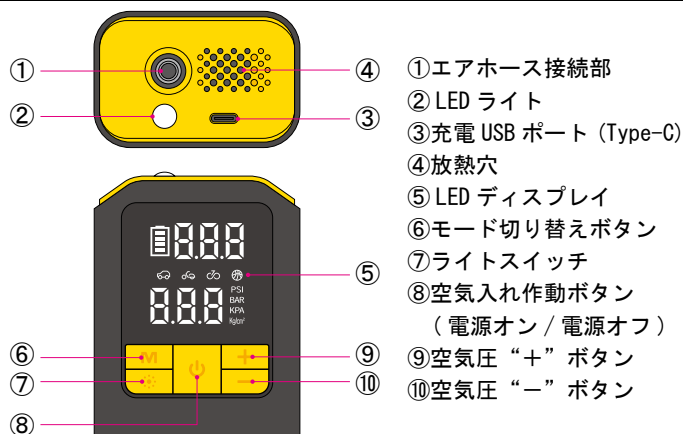
保証条件

- 保証内容
当製品は厳密な品質管理、検査の上お届けしていますが、万一ご購入後、保証期限内に正常な使用状態で不具合が生じた場合、弊社で点検、検査の上、下記の条件により保証させて頂きます。
- 保証の対象
製造上あるいは材料上の不具合により使用不能となったものに限る。(充電で回復する単なる放電状態は適応外です。)
- 保証期間
保証期間はご購入日より起算した使用期間を指します。
- 適用除外
保証期間内であっても下記の場合、保証は適用されません。
①保証書が無い場合。あるいは必要事項が記載されていない場合。
②単なるバッテリー上がりなど、充電により回復するもの。(但し充電により回復した場合の充電作業代は有料とする)
③天災、地災、火災、海難、動乱などによるバッテリーの破損ならびに故障。
④使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた故障と認められる物、たとえば
A、転倒、落下による破損外部に損傷があり、破損した物。
B、付属品の紛失
C、ご購入後保管期間中、放電したまま放置した場合。
D、使用者によって改造や分解されたもの
E、交通事故による破損、故障、機能低下の場合。
F、使用者がバッテリーを修理、改造した場合。
- 製品不良の例
①充電したが電源 ON/OFF 出来ない場合
②充填出来ない場合
③空気圧の検出不可の場合
④ディスプレイ表示不良の場合
⑤充電できない場合

販売店記入欄

販売店名・住所・電話番号	印
販売年月日	年 月 日

仕様表	
サイズ	162x68x45mm
本体重量	438g
バッテリー容量	4000mAh (14.8Wh)
吸出し空気量	19L/min
type-c (入力 / 出力)	5V/2A (入力 / 出力)
シリンダー直径	19mm
充電時間	約 3H
圧力範囲	20 ~ 999kps
動作環境温度	充電 0℃ ~ +45℃ / 放電 -10℃ ~ 45℃ (保管温度 -10℃ ~ 45℃)
連続稼働可能時間	10 分以内
LED ライト	1W (点灯 / 点滅)
対応モデル	自動車・バイク・自転車・ポール・浮き輪・カスタム
製品認証	CE/FCC/RoHS/PSE
音量	75 ~ 80dB (1.0 m)



注意事項

マニュアルに記載の製品、付属品、ユーザーインターフェース等のイラストは、すべて参考用の概略図になります。製品は定期的に更新、アップグレードを行う為、実際の製品は概略図と多少異なる場合があります。実際の製品目安としてご利用下さい。

■操作ガイド

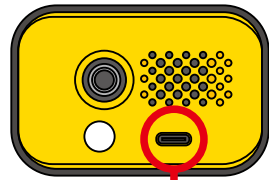
1. バッテリー容量の表示と充電

バッテリー容量表示



このメモリー表示がバッテリーの充電量を表しています。

- 4 メモリー : 100%
- 3 メモリー : 75%
- 2 メモリー : 50%
- 1 メモリー : 25% (充電が必要)



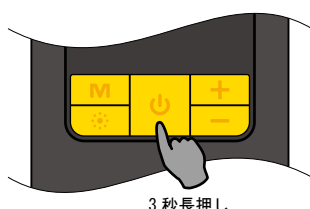
充電 USB ポート (Type-C)

当製品を初めて使用する場合、本体を満充電状態にしてからご使用下さい。充電方法は、付属の充電 USB ケーブルに別売 USB 充電器 (5V/AC アダプター) を接続し、充電を行って下さい。

充電中インジケータの表示インジケータが点滅している場合、充電中であることを示しています。

※充電中にエアコンプレッサーを使用する事は出来ません。

2. 本体起動方法

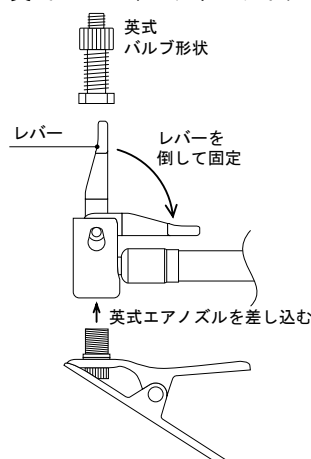


3 秒長押し

本体のエアホース接続部に付属のエアホースを取り付けます。空気入れ作動ボタンを 3 秒長押しする事で起動します。(画面表示) 起動状態で、一定時間使用しない場合、自動で電源オフになります。手動で電源オフを行う場合、起動状態で空気入れ作動ボタンを 3 秒長押しを行うと電源オフになります。

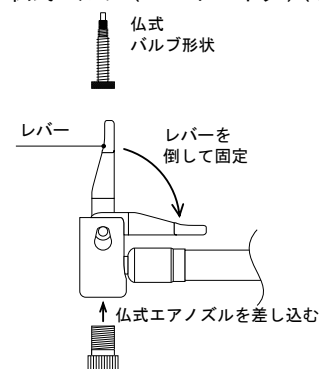
3. エアノズルをエアホースに接続する

英式バルブ (シティーサイクル) の場合



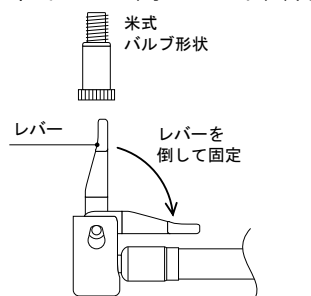
シティーサイクルには、英式バルブ (左バルブ形状) が採用されています。エアホースのレバーを立てた状態で、付属の英式バルブ用エアノズルをエアホースに差し込み、レバーを横に倒して固定します。この状態で、英式バルブに差し込んでエアを送ります。

仏式バルブ (ロードバイク) (スポーツ自転車) の場合



ロードバイク、スポーツ自転車には、仏式バルブ (左バルブ形状) が採用されています。仏式バルブ用エアノズルをバルブにネジ込みます。エアホースのレバーを立てた状態で、付属の仏式バルブ用エアノズルをエアホースに差し込み、レバーを横に倒して固定します。この状態で、エアを送ります。

米式バルブ (オートバイ) (自動車) (マウンテンバイク) の場合

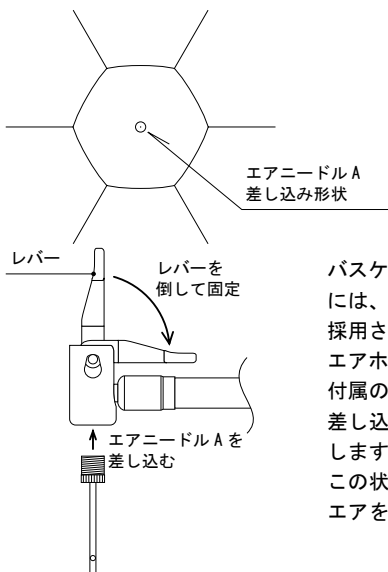


オートバイ、自動車、マウンテンバイクには、米式バルブ (左バルブ形状) が採用されています。エアホースには、標準で米式バルブのエアノズルが搭載されていますので、エアノズルを装着しない状態で、エアバルブに接続し、使用します。エアホースのレバーを立てた状態で、バルブに差し込み、レバーを横に倒して固定し、エアを送ります。

■操作ガイド

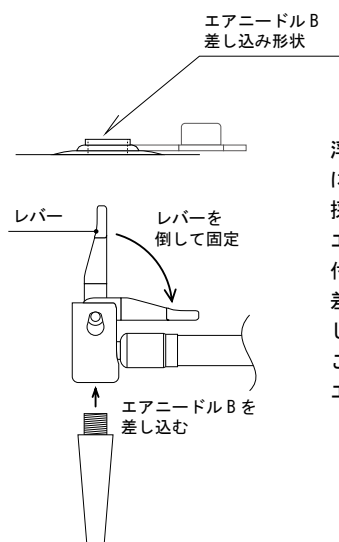
3. エアノズルをエアホースに接続する

エアニードルA(バスケットボール・サッカー等のボール)の場合



バスケットボール・サッカー等のボールには、エアニードルを差し込むタイプが採用されています。エアホースのレバーを立てた状態で、付属のエアニードルAをエアホースに差し込み、レバーを横に倒して固定します。この状態で、各種ボールに差し込んでエアを送ります。

エアニードルB(浮き輪・ビーチボール等のレジャー用品)の場合

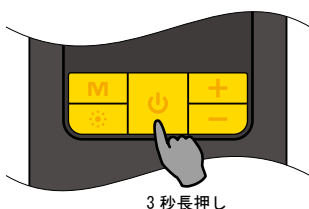


浮き輪・ビーチボール等のレジャー用品には、エアニードルを差し込むタイプが採用されています。エアホースのレバーを立てた状態で、付属のエアニードルBをエアホースに差し込み、レバーを横に倒して固定します。この状態で、各種ボールに差し込んでエアを送ります。

■操作ガイド 空気充填方法

1. 本体の電源を起動します。

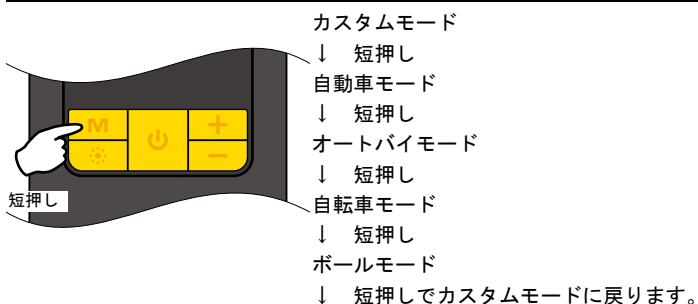
- ・⑧空気入れ作動ボタンを3秒長押しし起動します。



2. ⑥モード切り替えボタンを短押しする事で下記の順番で切り替わります。

- ・⑥モード切り替えモードは用途ごとに簡易的に使用する際に使用出来ます。

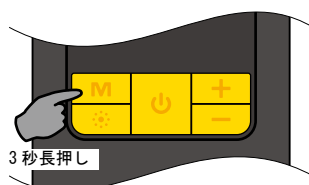
※必ず指定空気圧をご確認の上使用して下さい。空気圧の入れ過ぎは破裂等の原因に繋がります。



2-1 各モードの、単位の変更方法。

- ・⑥モード切り替えボタンを3秒長押しで⑤LED液晶部の単位を順に変更する事が可能です。

※カスタムモードのみ最後に入力した設定値/単位を電源OFFしても記録しています。その他モードには記録機能がないので常用で使用する場合はカスタムモードで使用すると便利です。



2-2 指定空気圧に数値変更する場合

- ・⑨+ プラスボタン又は⑩- マイナスボタンを押すと数値変更が可能。

※長押しで早送りする事が可能です。

モード / アイコン表示	初期値	調整範囲	空気圧目安※参考値
カスタム (表示無し)	250KPA	20 ~ 999KPA	フリー
自動車	220KPA	180 ~ 350KPA	200 ~ 250KPA
オートバイ	200KPA	100 ~ 300KPA	170 ~ 290KPA
自転車	45PSI	30 ~ 120PSI	シティ車 / マウンテンバイク : 35 ~ 50PSI クロスバイク : 50 ~ 75PSI ロードバイク : 80 ~ 110PSI 電動アシスト車 : 45 ~ 60PSI
ボール	8PSI	4 ~ 16PSI	10PSI ~ 13PSI

2-3 充填作業

- ・指定空気圧に設定した後に、⑧空気入れ作動ボタンを短押しする事で設定した空気圧を自動充填します。

※空気を充填中に手動で止めたい場合は再度⑧空気入れ作動ボタンを短押しする事で止める事が可能です。

⚠ 警告 : 空気入れ過ぎによる破損等の事故を防ぐ為必ず使用する前に対象物の空気圧をご確認の上ご使用下さい。又作動中は放置したまま、離れずご使用下さい。

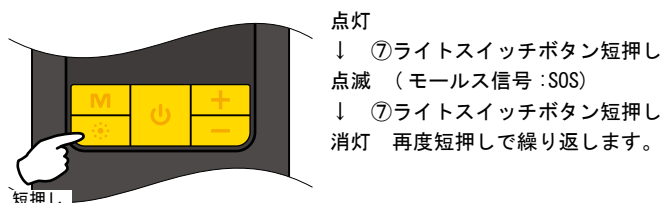
※10分以上で充填は行わないで下さい。破損に繋がります。時間を空けてからご使用下さい。

⚠ 注意 : ホースが高温になる場合がある為、手袋を着用し作業を行って下さい。

3. ⑦ライトスイッチの作動方法

- ・本体の電源を、起動させた状態で⑦ライトスイッチを短押しして作動させます。

※空気充填中でも使用する事が可能です。



点灯
↓ ⑦ライトスイッチボタン短押し
点滅 (モールス信号 : SOS)
↓ ⑦ライトスイッチボタン短押し
消灯 再度短押しで繰り返します。

©この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデータでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

